

「地元の元気プロジェクト」 ～明治安田生命の地方創生の取組みについて～

明治安田生命保険相互会社
ブランド戦略部

当社のプロフィール

明治安田生命

明治安田生命保険相互会社

明治14年（1881年）7月9日

44兆2,472億円

9,800億円

（基金償却積立金を含む）

6,232,565名

3兆6,702億円

正式名称

創業

総資産

基金総額

社員（ご契約者）数

グループ保険料

営業拠点数

（2023年4月1日時点）

従業員数

支社・マーケット開発部 **105**

営業部・営業所等 **1,047** 法人部 **20**

47,385人

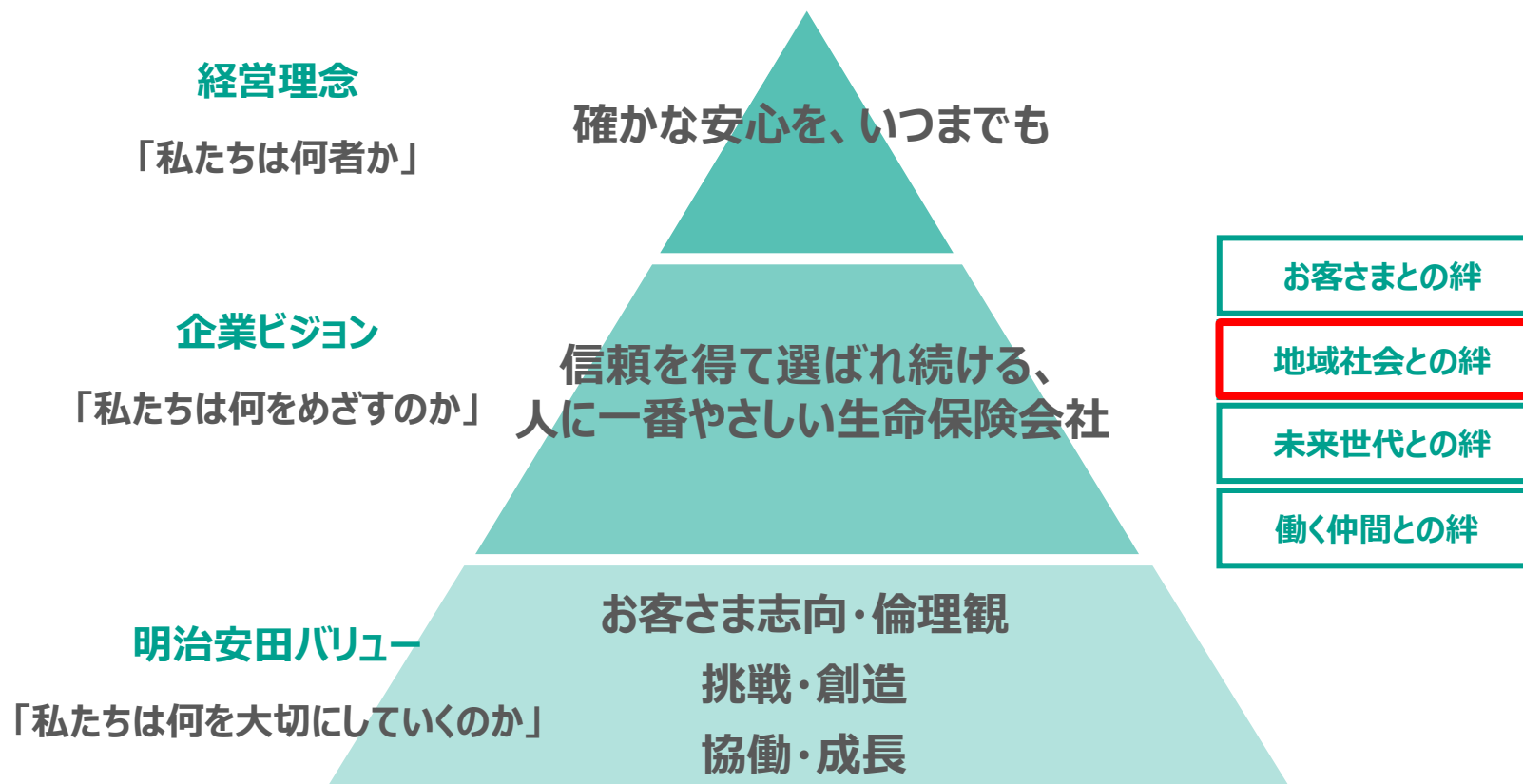
（うち営業職員「MYリンクコーディネーター等」36,546人）

※営業拠点数以外は2023年3月末時点

1. 会社概要

明治安田フィロソフィー

明治安田フィロソフィーのもと相互会社として、「社会的価値」向上と「経済的価値」向上の好循環を実現し、社会の発展とご契約者の利益を両立させる経営を推進



2. 2「大」プロジェクト

2「大」プロジェクト

Jリーグ・日本女子プロゴルフ協会（JLPGA）へのスポーツ支援を通じた協働を柱とした2「大」プロジェクトにより、ブランドイメージの浸透・定着に取り組み

めざすブランドイメージ

ひとに健康を、まちに元気を。



健康増進型商品・サービスや運動機会の提供等を通じ、お客さまの健康増進をサポート



地域と連携した取り組みやスポーツ応援等を通じ、地域のみなさまの交流機会をサポート

スポーツ支援を通じた健康増進・地域貢献の取り組みにより、当社らしい社会的価値を創出



■ Jリーグとの協働

- 「Jリーグウォーキング」の開催
- 「小学生向けサッカー教室」の開催
- Jリーグ公式戦のスタジアム観戦



■ 日本女子プロゴルフ協会との協働

- JLPGAプロによるティーチング活動
- 「小学生向けスナッグゴルフ教室」の開催
- 動画コンテンツ「おうちで健活」でのゴルフレッスン等の提供

3. Jリーグとのパートナーシップ



Jリーグ選手
中村 重剛

チャレンジ!で献血

いのちを、つなぎたい。

若い世代の献血者が、この10年で減少しています。 **85万人減**

だから 日本赤十字社協力のもと、Jリーグ全クラブとともに献血を呼びかけています。

明治安田生命

※献血：「2012年と2022年の献血事業実施状況（16歳～39歳の献血者数）」より（日本赤十字社）
*2012年：2,528,809人、2022年：1,679,008人。



Jリーグ選手
佐藤 亮人

健康チェック

すぐそばでやっています。

健康診断を受けていない人の割合は… **3.3人に1人**

だから 全国のスタジアム、道の駅、ゴルフ場などさまざまな場所で、健康チェックを実施中です。

明治安田生命

※献血：「2019年国民生活基礎調査の概況（厚生労働省）」
【献血】健康診断結果により献血や人間ドックを受けた者の割合(20歳以上)をみると、約3%



Jリーグ選手
種戸 竜二

「大人の塗り絵」、ご存じですか？

2025年には高齢者の20%が認知症になるという予測。 **20%**

だから 脳の活性化を促すと言われる塗り絵のコンクールを開催しています。

明治安田生命

※1 認知症予防や高齢者の生活の質向上に効果的であると見られています。認知症は、認知症の人々の生活の質について「認知症予防」をキーワードとして、高齢者の認知症予防や認知症の予防に役立つような取り組みを推進し、高齢者の生活の質向上に貢献することを目指しています。



4. 「地元の元気」プロジェクト



つながり、ふれあい、ささえあう地域社会を。

1

地域のみなさまの 心身の健康保持・増進

- 道の駅での健康増進イベント
- Jリーグ・日本女子プロゴルフ協会（スポーツイベント）
- 「大人の塗り絵コンクール」
- 日本赤十字社（献血）

2

地元への愛着と 暮らしやすさの向上

- 公民館（MY定期講座）
- 祭事への助成・参加
- 地元アスリート応援プログラム
- 金融・保険教育
- 行政サービス案内

3

地域を支える企業・団体の 持続的成長

- 協会けんぽ（健康経営サポート）
- 外部提携企業等との連携（サステナビリティ分野）
- 私の地元応援ファンド

取組みの基盤

- 自治体との連携協定：939自治体（2023年9月末）
- 私の地元応援募金の寄付：総額25.3億円（2020～23年度累計）
- Jリーグ・日本女子プロゴルフ協会とのパートナーシップ
- ⊕ 地域課題解決スキーム（産官学との協業等）

4. 「地元の元気」プロジェクト

- 「地元の元気プロジェクト」には、2年半でのべ906万人を超える方が参加



- ①公民館（MY定期講座）
- ②地域課題解決スキーム
（産官学連携によるエコシステム形成）
- ③行政サービス案内
- ④金融・保険教育

5-①. 公民館（MY定期講座）

- 全国約14,000館の上部組織である**全国公民館連合会**と「地元の『公民館』元気プロジェクト」を創設
- 公民館が行なう地域住民向けの定期講座・講習会等の開設・運営支援を目的に、民間企業のノウハウや健康分野の知見等を活かした **MY定期講座を提供**し、地域住民等の課題解決に向けた実践的教育プログラムの拡充を図る

・公民館との連携を希望する民間企業等とコンソーシアムを立ち上げ、**当社がプライマリパートナーとして、公民館と民間企業等との幅広い連携・協働を実現**

<地域における社会教育のめざす姿>



地元の『公民館』元気プロジェクト

公民館と民間企業等との幅広い連携・協働を実現することで
「**地域コミュニティの持続的な発展を推進するセンター的役割**」に貢献

全国公民館連合会

- 本プロジェクトにおける実施事項の普及促進に向けた公民館への周知・広報支援
- その他公民館機能のレベルアップに向けた実施事項の調査・研究

共同推進

幅広く連携

明治安田生命

- 地域住民向けの定期講座等の開設、運営支援を目的にMY定期講座を提供
- 公民館との連携を希望する民間企業等とのネットワーク構築、ノウハウ提供

自治体

地元大学

民間企業

NPO団体

5-①. 公民館 (MY定期講座)

- 「MY定期講座」のコンセプトは、公民館を取り巻く社会環境・地域の課題に符合する内容で設定しており、「地域が元気になる」、「公民館ならではの」コンテンツを提供

コンセプト概要

- 地域社会の課題解決や地域住民のQOL向上に資する講座テーマを設定
- 地域住民が「楽しく学び」、体験活動を通じて「自分ごと化」できるコンテンツを組み込み
- 地域資源の紹介・提供に加えて、地域でのコミュニティ活動・社会参画を継続支援



以下①～④を基本フレームとした
「地域が元気になる」「公民館ならではの」のMY定期講座を提供

① 座学セミナー

自治体の周知・予防事項をフォローアップする趣旨で、地域住民が主体的に学習できるわかりやすいコンテンツを提供

健康増進 介護認知症 子育て



② 体験型コンテンツ

座学だけでなく、地域住民が参加してみたい体験型コンテンツを提供し、継続的な活動を支援



③ 地域資源の活用

地域住民の健康・暮らしに関わる不安の解消やQOLの向上を目的に、各地域特性にあわせた地域資源の紹介・提供を組み込み



④ コミュニティ活動支援

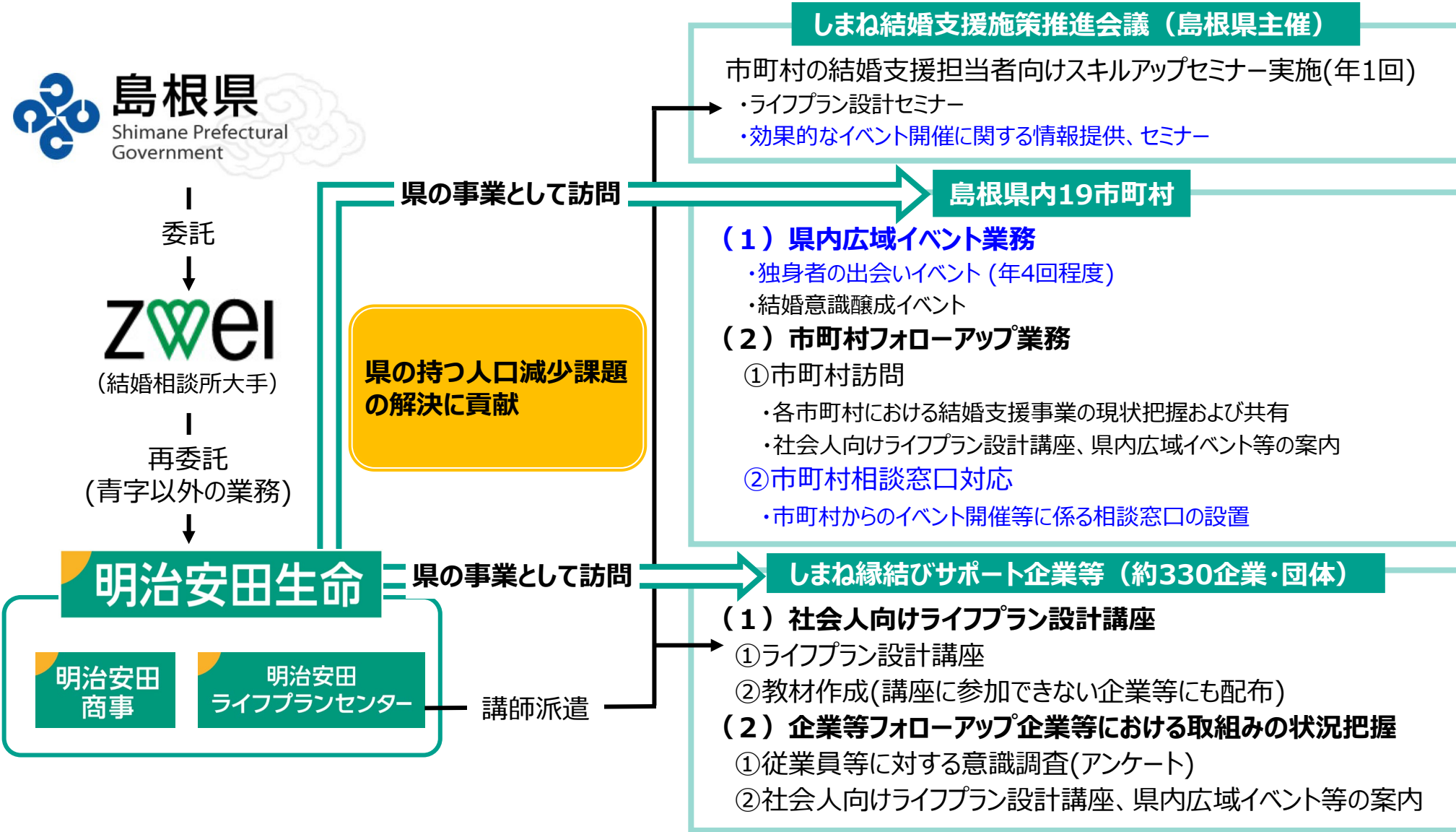
参加者の課題改善・関係構築や、講座後の継続的な活動支援を目的に、懇親会の設定や各種サークル活動の支援メニューを組み込み



※ MY定期講座の「MY (マイ)」は、「自分にあった」、「自分のためになる」という思いを含め設定

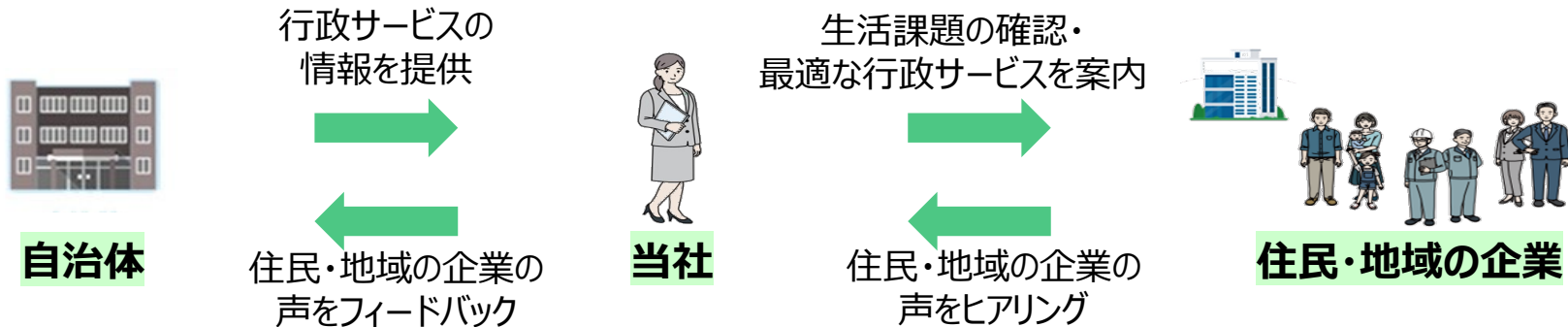
5-②. 地域課題解決スキーム（産官学連携によるエコシステム形成）

- 地域課題の解決に向けて、産学官連携による地域単位のエコシステム形成に取組み
- 取組案件の一つとして、国の支援を活用した婚活事業（結婚支援コンシェルジュ）を島根県で実施。概要は以下のとおり



5-③. 行政サービス案内

■ 住民から、4つの分野（健康増進、子育て、介護・認知症、防災・防犯）の生活課題を確認し、最適な行政サービスをご案内



Step1 生活課題の確認

□ 3つのテーマにおける、住民の困りごとや紹介してほしい施設・専門家等の生活課題をアンケートで確認

健康増進

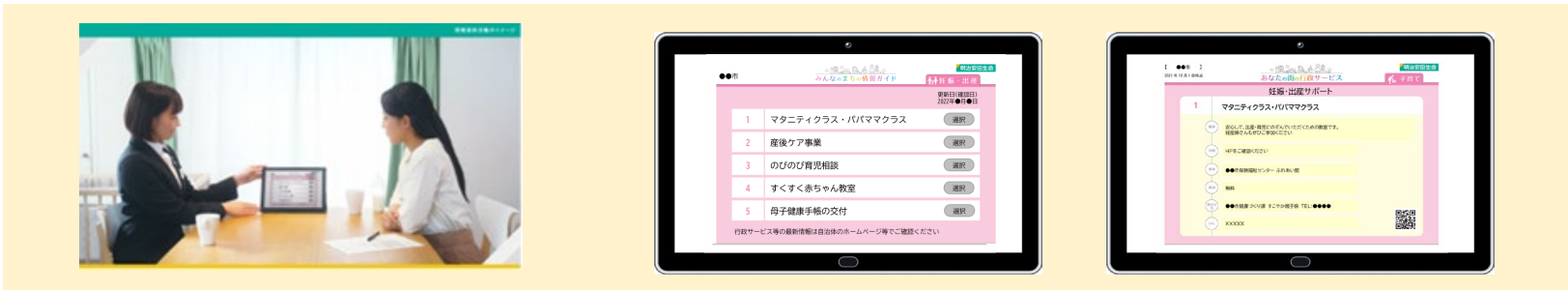
子育て

介護・認知症

防災・防犯

Step2 行政サービスのご案内

□ お客さまの生活課題に最適な「行政サービス（人的・物的・情報資源）」をご案内



Step3 ヒアリング

□ 行政サービス情報に関する住民の関心や利用状況等をヒアリング

□ ヒアリング結果を自治体・住民にフィードバック

5-④. 金融・保険教育

- 子どもたちの金融リテラシー向上を目的として、全国各地の学校で出張授業を開催し、「自助の備え（保険・貯金の必要性）」について学ぶ機会を提供

出張授業の内容

2020～23年度上期累計：**1,320**回

「人生100年時代の『自助』」をテーマに、「お金」と「保険」について、クイズなどを交えながらわかりやすく説明

1 人生100年時代の「リスク」について

2 「保険」の仕組みについて

3 「お金」の運用について



■ 金融・保険教育で使用するテキストは2種類。いずれも当社オリジナル教材で、小学校用・中学校用・高校用を用意

テキスト

【MY LIFE !】

「人生100年時代の『自助』」をテーマに、「お金」と「保険」について、クイズなどを交えながらわかりやすく説明。講義形式のテキスト



みなさんは、こんな時どうしますか？

前編

● 前編の天災予報、雨の確率は40%です。お天気の予報をみて、傘を持っていく場合、あなたは傘を持っていきますか？

みなさんはどうしますか？

傘を持っていく人 傘を持っていかない人 傘を持っていく人 傘を持っていかない人

● 「望ましくない事が発生する可能性」を「リスク」といいます。この前では、雨が「リスク」と考えられています。

● 「リスク」への備えは、雨への備えのように、さまざまです。

いかにして、一般的に「リスク」の備えの考え方は下のように分かれます。

前編

後編

社会 個人 公衆

共に考えよう 一緒に考えよう

人生100年時代がくる！

● このように平均寿命が伸びていることから、近い将来には「人生100年時代」がくるといわれています。

● 想像がつかないかもしれませんが、統計上では、15歳を迎えた方の男性の10人に約2.8人、女性の10人に約5.2人は90歳まで生きることがあります。さらに、そのうち男性は約7%、女性は約14%が100歳まで生きることがあります。

15歳を迎えた男性10人中約2.8人が90歳まで生きることがあります

15歳を迎えた女性10人中約5.2人が90歳まで生きることがあります

● 特に日本は、世界のなかでも長生きの国です。

平均寿命(国際比較)	
順位	平均寿命(歳)
第1位	82.97歳
第2位	81.6歳
第3位	81.59歳
第4位	81.47歳

● 日本は、世界のなかでも長生きの国です。

順位	国名	平均寿命(歳)
第1位	日本	82.97歳
第2位	スウェーデン	81.6歳
第3位	ニュージーランド	81.59歳
第4位	オーストラリア	81.47歳

【みんなで考えるお金と保険の話】

家庭科や社会科、特別活動等の学習指導要領に対応した、「契約」「お金の使い方」「計画的な金銭管理」等のテーマで構成。対話形式のテキスト



身のまわりのリスクと保険

みなさんはテレビや広告で「保険」の宣伝を見たことがありますか。「保険」はくらしの中で発生するさまざまなリスクに備えるためのしくみです。ここでは、リスクと保険の関係について学びます。

くらしの中のリスク

「望ましくないことが発生する可能性」をリスクといいます。交通事故や病気、けがなど、日常生活の中にはさまざまなリスクがあります。

保険のしくみ

さまざまなリスクへの備えとなるのが保険のしくみです。

● 思わぬ事故や病気、けがなどでお金が必要になるときに備えて、保険料の支払いで少額のお金を積み立てる。

● 思わぬ事故や病気、けがなどでお金が必要になるときに備えて、保険料の支払いで少額のお金を積み立てる。

リスクと保険/リスクの中で生きるとは？

● 保険料を支払って、思わぬ事故や病気などで発生したときに、保険会社が集めたお金の一部を払ってくれます。保険料を支払って、思わぬ事故や病気などで発生したときに、保険会社が集めたお金の一部を払ってくれます。

● 自分が事故や病気、けがをしたときのために、どのような保険があるか調べてみましょう。

リスク	保険
● 交通事故や病気、けがなど	● 交通事故や病気、けがなど
● 思わぬ事故や病気、けがなどで発生したときに、保険会社が集めたお金の一部を払ってくれます。	● 思わぬ事故や病気、けがなどで発生したときに、保険会社が集めたお金の一部を払ってくれます。